

光和幼稚園の体験学習を支援しました



無人島でも暮らしていける川



土曜川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

9月2日(金)に、光和幼稚園の体験学習を支援しました。

体験学習では、身近な庄内川に生息する水生生物を観察したり、生き物に実際にふれることで河川環境の大切さを学んでもらいました。また、あわせて安全に楽しく河川で遊んでもらうための「川遊び」の注意点やルールについても学んでもらいました。

タモの使い方の説明



ガサガサ探検



水生生物観察（水生生物の説明）



水生生物観察（お魚タッチプール）



【参加した園児：年長組59名】

★園児たちの感想

- ・外来種のカメは矢田川の魚などを食べてしまうこと。
- ・金魚の先祖はフナであること。
- ・手長エビの強さに感動したこと。
- ・クサカメやウナギに触れてうれしかった。
- ・魚を捕まえることができ、嬉しかった。

安全講和 ～川遊びのルール～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。
なお、熱中症を防ぐためガサガサ探検時にはマスクをはずして活動しました。